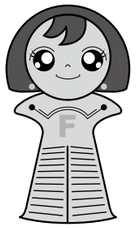
2023 ふながたまち
重大ニュース



５月８日、新型コロナウイルス感染症が５類に移行された2023年。
６～８月の日本の平均気温は1898年の統計開始以降で最も高くなり、みなさんの生活や農作物の成長に大きな影響を与えた１年となりました。また、熊による人身被害が全国で相次ぎ、大きな話題となりました。
今年はたくさんの行事やイベントが開催された舟形町。１年間を振り返ってみましょう。

５年間を振り返り、町内会地域づくりワークショップ

平成30年度に各町内会のワークショップで話し合われ、令和元年に作成した５ヵ年の計画である「町内会びじょん」。今年度はその最終年度であり、振り返りと次期のびじょんの検討のため、各町内会でワークショップが行われました。参加者からは「またみんなで集まる良いきっかけとなった」との意見がありました。

新型コロナウイルス感染症が５類に移行され、４年ぶりの開催

新型コロナウイルス感染症が５類に移行され、町での行事、イベントが次のとおり再開されました。
春季消防演習（５月）、第９回ヒストリックカーミーティングin舟形（６月）、世田谷区舟形町児童交流学習事業（７月）、第40回ふながた若鮎まつり、舟形町敬老祝賀式（９月）、第32回芸能フェスティバル（11月）など

町制施行70周年に向けた地域映画づくり

令和６年度に迎える町制施行70周年を記念して、町内で撮影された８mmフィルムを掘り起こし、多世代の町民が関わる地域映画づくりを行なっています。
９月21日、山形放送㈱の小坂憲央アナウンサーによるインタビュー講座を受けた舟形中学校３年生41名。28日には昭和の舟形を知る町民のみなさんへのインタビューを実際に行い、映画づくりに参加しました。

第二庁舎解体

11月、国道13号の拡幅工事に伴い、平成８年度から27年間使用してきた役場第二庁舎の解体が行われました。跡地の利用方法については、町民の利便性に配慮し、有効活用できるように検討を進めています。
なお、跡地の一部にある山交バスのバス停には、仮設の待合室として使用するためのプレハブを設置し、待ち時間を快適に過ごせるように活用しています。

'23 主な出来事

1月
- ▼舟形町消防団安全祈願祭・出初式（8日）
- ▼第35回新春町民なわとび大会（22日）
- ▼第15回B&G全国サミット10年連続「特A」表彰（24日）

2月
- ▼舟形町教育功労者表彰式（14日）
- ▼ゼロカーボンシティ宣言（27日）

3月
- ▼舟形中学校卒業式（14日）
- ▼舟形小学校卒業式（18日）
- ▼第３回縄文の女神ペーパークラフトデザインコンテスト表彰式（22日）
- ▼ほほえみ保育園卒園式（27日）

4月
- ▼ほほえみ保育園入園式（６日）
- ▼舟形小学校入学式（８日）
- ▼舟形中学校入学式（８日）
- ▼舟形町議会議員選挙（23日）
- ▼舟形中学校運動会（29日）

5月
- ▼春季消防演習（３日）
- ▼舟形町と㈱クリエイト礼文との東北農林専門職大学生等向けアパートの運営等に関する連携協定締結式（16日）
- ▼松橋わらび園オープン（20日）
- ▼舟形小学校運動会（21日）
- ▼長沢地区連合会設立総会（25日）

6月
- ▼第９回ヒストリックカーミーティングin舟形（11日）
- ▼舟形町消防ポンプ操法審査会およびポンプ性能検査（25日）
- ▼桧原地区農地整備事業安全祈願祭（30日）

7月
- ▼舟形町夏季非常招集訓練（２日）
- ▼東北農林専門職大学学生等向けアパート起工式（３日）
- ▼ふながたWAKU WAKU WORK（６日）
- ▼舟形小学校、県赤十字大会で金色有功章を受章（13日）
- ▼世田谷区舟形町児童交流学習事業（22～24日）

8月
- ▼スマホ講座開始（１日）
- ▼縄文の女神の日（４日）
- ▼麻布地区サマースクールin舟形（４～６日）
- ▼縄文の女神まつり（６日）
- ▼舟形若あゆ温泉開業30周年（12日）
- ▼戦没者追悼式（14日）
- ▼舟形町二十歳の祝賀式（14日）
- ▼㈱小野商会ウォーターネット山形月山との災害時における飲料水の提供に関する協定締結式（21日）
- ▼舟形小学校奉納さばね山相撲大会（24日）

9月
- ▼舟形本町地域づくり協議会合同防災訓練（３日）
- ▼第40回ふながた若鮎まつり（９・10日）
- ▼ほほえみ保育園運動会（16日）
- ▼舟形町敬老祝賀式（21日）
- ▼舟形若あゆ温泉開業30周年記念式典（22日）

10月
- ▼第31回舟形町スポーツフェスティバル（８日）
- ▼第19回舟形町長杯ゴルフ大会（15日）
- ▼港区交流50周年記念植樹式（20日）
- ▼舟形町総合防災訓練（21日）
- ▼舟形小学校創立10周年記念式典（22日）
- ▼舟形小学校めがみ学習発表会（22日）
- ▼町内会地域づくりワークショップ開始（25日）
- ▼舟形中学校舟友祭（28日）

11月
- ▼舟形町自治功労表彰式（１日）
- ▼第32回芸能フェスティバル（３日）
- ▼舟形町総合文化展（10～19日）
- ▼ふながた家族新聞コンクール表彰式（14日）
- ▼第23回山形ふるさとCM大賞特別賞「チームワーク賞」受賞（16日）
- ▼第４回縄文の女神ペーパークラフトデザインコンテスト表彰式（20日）
- ▼高齢者フェスティバル（22日）

12月
- ▼舟形町冬季ポンプ性能検査（３日）
- ▼舟形ほほえみ保育園発表会（９日）

寺下地区排水対策完成

最上小国川および夫婦川の増水により浸水被害を受けていた寺下地区（舟形第３、第４）への対策として、県と町が令和３年度から３ヵ年におよぶ築堤工事を実施。町は常設の排水ポンプ３台と可搬式排水ポンプ３台の設置工事を令和４年度から着手し、６月20日に完成しました。長年の懸案事項であった寺下地区の排水対策が進みました。

港区交流50周年、港区と災害時相互協力協定を締結

旧飯倉小学校との児童交流に始まり、友好都市として歴史を刻み、港区と舟形町の交流は50周年を迎えました。８月17日、港区役所において、港区と舟形町は「食料、飲料水、および生活必需品の提供」や「避難者の受入れ」など、７項目について、災害時相互協力協定を締結しました。

創立10周年舟形小学校、受賞ラッシュ

令和５年度に創立10周年を迎えた舟形小学校。10月22日には記念式典が行われました。また、今年は青少年赤十字より「金色有功章」を受章、第56回ＹＢＣ読書感想文「本の森たんけん」で学校賞を受賞、組織的な健康教育が山形県健康推進学校表彰最優秀校に選ばれるなど、多くの賞を受け、創立10周年に花を添える受賞ラッシュとなりました。

高温少雨により、一等米比率の大幅低下

７月下旬から９月中旬にかけ、連日の猛暑日に加え雨が極端に少なく、農作物に大きな影響を与えました。この影響を受けて町の基幹作物である米の品質が低下し、うるち米の１等米比率は67.3％と令和４年産米実績と比較し26.7ポイント（11月15日現在　ＪＡおよび米集分、最上総合支庁農業技術普及課調べ）低下しました。高温に強い米づくりを推進していきます。

第１回鮎釣り体験講座in舟形

８月27日、一の関大橋河川敷付近で、舟形中学校の生徒を対象に鮎釣り体験講座が初めて開催されました。この講座は、鮎釣りをとおし郷土愛の醸成と文化の継承を図ることを目的としています。当日は15名の講師の指導のもと、生徒22名が最上小国川におとり鮎を泳がせ、伝統ある鮎釣りを楽しみました。町と最上小国川清流未来振興機構の共催で行われました。

東北農林専門職大学学生の受入れ体制の整備が進む

東北農林専門職大学学生用アパート10戸と職員用８戸への入居申込みが好評となっています。このアパートは、舟形町と㈱クリエイト礼文との東北農林専門職大学生等向けアパートの運営等に関する連携協定書に基づき建設が進められています。開校に合わせ町では総合プロジェクトチームによる学生の受入れ体制の整備が進んでいます。